

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	理学療法基礎演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301 他
担 当 教 員	太田 珠代	実務経験と その関連資格	小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
《授業科目における学習内容》						
理学療法の実践に必要な基礎的要素を理解することにより、理学療法の全体像への理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況20%、課題提出(ポートフォリオ)50%、授業態度10%、小テスト20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
その日の授業で学んだ事をどのように理解したかをまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
学生としての基本となる授業のため、必ず身につけておく身構え・心構えという事を意識して自分のものにできるようにする						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学の骨を理解する		配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	骨の基礎			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学の骨を理解する		配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	骨の基礎			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解剖学・運動学の関節を理解する		配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	関節の基礎(靱帯を含む)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解剖学・生理学・運動学の筋を理解する		配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	筋の基礎1			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解剖学・生理学・運動学の筋を理解する		配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	筋の基礎2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	解剖学・生理学の神経を理解する	配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	神経の基礎1		
第7回	講義 形式	授業を通じての到達目標	解剖学・生理学の神経を理解する	配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	神経の基礎1		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配付資料	その授業で習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第9回	講義 演習形式				
第10回	講義 演習形式				
第11回	講義 演習形式				
第12回	講義 演習形式				
第13回	講義 形式				
第14回	講義 形式				
第15回	講義 形式				